



学校だより

2月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

夢の実現のために

副校長 山下 謙一郎

立春間近で、暦の上では春が始まる日とされていますが、今年もまだまだ寒い日が続いています。昨年は比較的温暖な日が続き暖冬と言われていましたが、やはり例年通りの寒さとなりました。最近の気候変動は日本だけに留まらず、世界各地の異常気象にもつながっているようです。

さて、今年の初めに子どもたちはどんな「夢」をもったり「目標」を立てたりしたのでしょうか。きっと新年を機にいろいろなことを考えたことでしょう。「勉強をがんばる。」「水泳でタイムを上げる。」「研究者になる。」ちょっと先の目標、ずっと先の将来の夢、どんなことでもいいから、自分のなりたい姿をイメージしてがんばることは大切だと思います。

「夢」を実現するためにはどんなことが必要でしょうか。

まずは、「健康」です。風邪をひいたり熱を出したりしても、少し寝たり薬を飲んだりすればやがて治ります。しかし、交通事故などのように命にかかわるような大きな事故になったら、夢の実現は難しくなります。そのためには、自分の健康や命はもちろん、友達健康や命も大切にしなければなりません。

次に、「当たり前のことをやる」ということです。夢や目標を実現する人たちは、挨拶や時間、ルールを守るなど、当たり前のことをきちんとやっている人だと思います。日々の生活で、やるべきことをしっかりとやっている人は、夢に向かって着実に進んでいるに違いありません。

最後に、「感謝の気持ちをもつ」ことです。私たちは、周囲の人と協力して生活しています。自分だけで生きていくことはなかなか難しいものです。自分の努力はもちろん必要ですが、そこには多くの人たちの応援や支えがあるのです。そのことに気づき、「ありがとう」の気持ちをもつことができる人は、きっと「夢」にまた一歩近づいていけることでしょう。右の毛筆で書かれた「夢」の字は、ある書道家が書いたものです。「夢」という字を「ありがとう」というひらがなを組み合わせさせて書いたのだそうです。ありがとうの気持ちで夢をつくっていく、そんな素敵な字だと思いませんか？



自分の体、自分の行動、自分の周りへの気持ち。どれも大切なことですが、ついつい忘れがちなことです。いつでもどんなときでもいい。たまに振り返ってみましょう。自分は「夢」の実現のためにできているかな、と。そこからまた再び歩み出してもけっして遅くはないはずです。